

## Criteo、2019年第3四半期の業績を発表

インターネット上のオープンな広告プラットフォームを提供する Criteo（クリテオ、本社：フランス、NASDAQ：CRTO）は、2019年9月30日を末日とする2019年第3四半期の決算を発表しました。

### ■2019年第3四半期 業績ハイライト

- 売上高は前年同期比1%減（為替変動の影響を除くと横ばい<sup>1</sup>）の5億2,300万ドルでした。
- トラフィック獲得コスト（TAC）を除く実質売上高<sup>2</sup>は前年同期比1%減（為替変動の影響を除くと横ばい）の2億2,100万ドルとなり（第3四半期の想定為替レートでは2億2,300万ドル）、対売上高比率は42%でした。
- 純利益は前年同期比15%増の2,100万ドルでした。
- 調整後 EBITDA<sup>2</sup>は6,400万ドルで、TACを除く実質売上高に対する比率は29%でした。
- 営業活動によるキャッシュフローは4,300万ドルで、フリー・キャッシュフロー<sup>2</sup>は1,900万ドルに達しました。
- 2019年9月30日時点でのキャッシュポジションは4億900万ドルとなりました。
- 希薄化後1株当たり調整純利益<sup>2</sup>は12%増の0.28ドルでした。
- 2019年度のTACを除く実質売上高を更新し、調整後 EBITDA マージンは見通し通りに維持しています。

### ■エグゼクティブのコメント

Criteo のCEO（最高経営責任者）であるJB・リュデルは、「当社が取り組んでいる変革の過程において、重要なマイルストーンに到達することができました。明確な方向性と、強化されたリーダーシップにより、オープンなインターネット環境におけるテクノロジープラットフォームの先駆けとして成果を遂げていくことと確信しています」と述べています。

また、CFO（最高財務責任者）のブノワ・フオンは、「第3四半期の堅実な業績に、当社の変革の進展が表れています。より堅調かつ持続可能な収益性の形成に向けて取り組み、全社的に効率化を促してまいります」と述べています。

### ■2019年第3四半期 ビジネスハイライト

- リターゲティング以外の全ての新たなソリューションにおける TAC を除く実質売上高は、全事業の11%を占め、前年同期比57%増となりました。
- 新たなソリューションのうち、Retail Media（リテールメディア）は、TAC を除く実質売上高が25%増となりました。



- 第3四半期に立ち上げた、顧客のウェブサイトへトラフィックを誘導する新サービスであるインプレッション単価（または CPM）の Web Consideration（ウェブ・コンシダレーション）は、すでに 400 社に導入されています。
- 第3四半期は 238 社の新規顧客を獲得し、顧客維持率は全ソリューションにおいて 90%近い水準を維持しました。
- 既存クライアントの売上<sub>3</sub>は為替変動の影響を除くと前年同期比で 3%以下の微減、TAC を除く実質売上高<sub>3</sub>は、為替変動の影響を除くと前年同期比 4%減となりました。
- 当社のヘッダー入札技術である Criteo Direct Bidder（クリテオ・ダイレクト・ビッド）は、4,000 社を超えるパブリッシャーと 200 のアプリ・デベロッパーに連携し、質の高い広告在庫へのダイレクトなアクセスを提供しています。

<sup>1</sup> 為替変動の影響を除くベースでの増加率は、2018 年の該当期間の平均為替レートを 2019 年の数値に適用して算出しています。

<sup>2</sup> TAC を除いた実質売上高、TAC を除いた実質売上高マージン、Retail Media の TAC を除いた実質売上高、調整後 EBITDA、為替変動の影響を除く調整後 EBITDA、調整後 EBITDA マージン、希薄化後 1 株当たり調整純利益、フリー・キャッシュフローおよび為替変動の影響を除く成長は、米国一般会計原則（GAAP）に従って計算された指標ではありません。

<sup>3</sup> 既存クライアントの TAC を除く実質売上高は、前年同四半期に当社と取引があり、その翌年の同四半期も当社と取引が続いているクライアントによる TAC を除く実質売上高です。

※本資料は、Criteo より 2019 年 10 月 30 日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

※本リリースの全文は英文資料をご参照ください。

###

#### ■ Criteo（クリテオ）について ■

Criteo（NASDAQ：CRTO）は、オープンで透明性のあるインターネット上の広告プラットフォームを提供しています。およそ 2,900 名以上の Criteo チームメンバーは、世界 20,000 社近くの広告主と、数千のパブリッシャーと連携して得られる膨大なデータを、機械学習を用いて精密に分析することで、全ての広告チャネルを通じた効率的な広告配信を実現します。Criteo はテクノロジーを通じて、あらゆる規模の広告主に対し、ユーザーが本当に求めているものに出会える仕組みを提供します。

[www.criteo.com/jp/](http://www.criteo.com/jp/)

※CRITEO 株式会社はその日本法人です。

本件に関するお問い合わせ先

【報道関係者】

Criteo 株式会社 PR 事務局（フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社内）中山、小川

Tel : 03-6204-4301 Fax : 03-6204-4302 E-mail : [criteo-pr@fleishman.com](mailto:criteo-pr@fleishman.com)